

JAGP36 TOKYO

日本集団精神療法学会 第36回大会

The 36th Annual Meeting of the Japanese Association for Group Psychotherapy

「私たち」のグループを求めて

会期

2019年3月9日(土)~3月10日(日)

会場

国際基督教大学 東京都三鷹市大沢3-10-2

大会長

西村 馨 (国際基督教大学)

特別講演

「日系人収容所の子どもたち：
グループ体験による隠されたトラウマの発見」

サツキ・イナ (カリフォルニア州立大学サクラメント校名誉教授、
サイコセラピスト、映画製作者、著述家)

シンポジウム

「『私たち』のグループを求めて～
『心理学的になる』ことの意味」

シンポジスト 相田信男(群馬病院)・鎌田明日香(札幌市スクールカウンセラー)・
白波瀬丈一郎(慶応義塾大学)

指定討論者 小宮敬子(日本赤十字看護大学)

司 会 西村馨(国際基督教大学)・荻本快(相模女子大学)

大会ホームページ <http://jagp1983.com/jagp36tokyo>

大会事務局

国際基督教大学 心理学研究室内
〒181-8585 東京都三鷹市大沢3-10-2
e-mail : 36tokyo@jagp1983.com

*お問い合わせはメールにてお願いいたします

日本集団精神療法学会第38回大会

市民公開プログラム 発達障害児を育てるグループ

2019年3月10日(日)
於:国際基督教大学本館116教室

かつて、「自閉症の子どもにグループセラピーやグループワークは無理。だって、『自閉』だから」と考えられていた時期がありました。しかし、さまざまな現場での積極的な取り組みは、発達障害を抱えていてもグループセラピーやグループワークは可能である、いやそれどころか、むしろグループは彼らが育っていくために非常に有益であるということを示してきました。これは重要な発見、転換であり、グループに携わる私たちとして、多くの人に知っていただきたいと願っています。

そこで今大会では、その実践を積み重ねてこられた方々を招き、「発達障害児を育てるグループ」とはどうか、その方法と効果、留意点についてご発表いただき、専門家だけでなく、広く当事者、家族、支援者の方々にも参加していただいで語り合うために、この市民公開プログラムを企画しました。

3施設4名の方々にご登壇いただき、それぞれの取り組みをご紹介いただいたのち、指定討論者との議論を行い、最後に全体での議論を予定しています。

われわれ主催者たちも、参加者の方々の率直な問いやお考えを交え語りあうことで、私たちの「発達障害児を育てるグループ」を作り上げたいと願っています。皆さんの参加をお待ちしております。

〈シンポジスト〉 小道 モコ (bonキッズ谷町)

「自閉スペクトラム症児の英語をつかったグループ活動」

渡部 京太・林 尚宏 (広島市こども療育センター)

「療育センターにおける発達障害児を対象としたグループ」

大橋 良枝 (聖学院大学)

「知的障害特別支援学校教員のチームづくり：怒りと主体性の観点から」

〈指定討論者〉 生地 新 (北里大学)

〈司 会〉 石川与志也 (ルーテル学院大学)

日 時：3月10日(日) 10:00~12:00

会 場：国際基督教大学本館116教室

(JR中央線武蔵境駅南口よりバス国際基督教大学行き終点より徒歩5分)

無料・予約不要 詳細はHPをご覧ください。

大会事務局 国際基督教大学 心理学研究室 〒181-8585 東京都三鷹市大沢3-10-2
e-mail: 36tokyo@jagp1983.com 大会HP: <http://jagp1983.com/jagp36tokyo>